

年 譜

西 暦	和 暦	事 項
717	養老元年	泰澄大師により白山開山
829	天長5年	長滝寺、法相宗より天台宗に改宗
832	天長9年	白山三馬場が開かれる
957	天徳元年	『泰澄和尚伝記』著される
1021	治安元年	長滝寺、延暦寺別院となる
1120	保安元年	石徹白の『越宗廟白山年中行事祭祀』が書かれる
1163	長寛元年	石川・白山比咩神社長吏隆房が『白山之記』を著す
1248	宝治2年	長滝寺の『莊嚴講執事帳』が書き始められる
1271	文永8年	長滝寺一山全焼
1292	正応3年	長滝寺再建
1292	正応5年	長滝寺拝殿再建、弁天堂建立
1302	正安4年	長滝寺の石燈籠、伝燈大法師覚海より寄進される
1312	正和元年	長滝寺に天台宗の安楽寺高僧の栄秀、清原広重の両名が瓶子奉納
1314	正和3年	長滝寺に伴友長が仏鉢を奉納
1369	応安2年	長滝寺へ<尉>面の奉納
1395	応永2年	郡上市大和町牧の尊星王院の仏慶が神鳩社に花瓶を奉納
1467	応仁元年	応仁の乱が起こる
1470	文明2年	長滝寺に<若女>面の奉納
1474	文明6年	石徹白の威徳寺、天台宗から浄土真宗に改宗
1480	文明12年	白山比咩神社、一向一揆により全山焼失
1518	永正5年	白山中居神社に尾州犬山の住人豊田九郎右衛門が鰐口を奉納
1540	天文9年	今川義元、石徹白の林阿弥に宿坊の安堵状を与える
1542	天文11年	長滝寺に<翁>面の奉納
1557	弘治3年	観世一座の岐阜・石徹白下向
1568	永禄11年	越前より大和五郎大夫の長滝寺入り
1571	元亀2年	白山中居神社に織田信長が鰐口を奉納
1573	天正元年	尊王星院の鐘銘に「白山参詣者数千人」とある

1595	文禄4年	『白山長滝寺修正延年之次第』が著される
1579	天正7年	白山の噴火
1580	天正8年	白山中居神社に<若女>面の奉納
1583	天正13年	長滝寺の三重塔、大地震と大風により倒壊
1597	天正4年	白山中居神社に尾州小牧の左馬六郎右衛門勝家が鰐口を奉納
1616	元和2年	長滝寺に<喝食>面が奉納される
1620	元和6年	長滝寺に尾州名古屋の有萱又左衛門が狩衣奉納
1648	慶安元年	『修正延年並祭礼次第』著される
1669	寛文9年	長滝寺の宿坊数は27坊
1688	貞享5年	白山中居神社に恵那郡加子母村の熊沢与七が獅子頭を奉納
1697	元禄10年	石徹白、郡上藩の支配となる
1723	享保8年	長滝寺の盆踊りに奉行所が停止命令をだす
1750	延享3年	長滝寺の宿坊数は14坊
1785	天明5年	長滝寺執行家の若宮家が建てられる
1807	文化4年	白鳥町歩岐島の悲願寺住職、白山登拝を行う
1833	天保4年	長滝寺の宝篋印塔建立
1843	天保14年	白鳥町中津屋の『嘉喜踊』の幟「天保十四年白山妙理大権現」
1849	嘉永二年	白鳥町中津屋の『嘉喜踊』に太鼓が惣若連中から寄進
1860	万延元年	石徹白の白山御師伊織家が建てられる
1868	明治元年	明治政府、神仏混交を禁止
1872	明治5年	石徹白に観音堂、大師堂を建立、仏像、仏具を納める 修験道の廃止、女人禁制、結界の解禁
1889	明治32年	長滝白山神社および長瀧寺、大火により一山全焼
1931	昭和6年	長滝白山神社に天神堂が合祀される
1933	昭和8年	長滝白山神社の奉納品「古瀬戸瓶子」が民家より発見される
1947	昭和22年	白鳥町の「白鳥踊り保存会」が設立される
1957	昭和32年	県道前谷・石徹白線全通
1958	昭和33年	福井県大野郡石徹白が越県合併により郡上郡白鳥町に編入
2004	平成16年	郡上郡の三町四村の合併により郡上市となる
2018	平成30年	白鳥町長滝に長良川あゆパーク開館

参考文献

奥濃越の遺産・白鳥町の文化財
郡上踊りと白鳥踊り
白鳥町史通史編・資料編各上下
白鳥踊り保存会五十年史
白鳥町の絵画
白鳥町の彫刻
白山開山1300年関連特別展資料
白山開山1300年について資料
白山文化の里しろとり
白山信仰
白山信仰と能面
中津屋の嘉喜踊り

白鳥町教育委員会編
曾我孝司
白鳥町教育委員会編
五十年史編纂部会編
白鳥町教育委員会編
白鳥長教育委員会編
白山文化博物館
郡上市教育委員会
郡上市白鳥町・白鳥観光協会
下出積與編
曾我孝司
郡上市白鳥町中津屋区

【資料提供】（敬称略）

石徹白清住
大師堂
白鳥観光協会
長滝白山神社
白山中居神社
若宮多聞

岐阜県郡上市白鳥町石徹白
岐阜県郡上市白鳥町石徹白
岐阜県郡上市白鳥町向小駄良
岐阜県郡上市白鳥町長滝
岐阜県郡上市白鳥町石徹白
岐阜県郡上市白鳥町長滝